

第3回江南市総合計画審議会 議事要旨

日 時 平成29年2月21日(火) 14:00~16:00

会 場 江南市役所 第2委員会室

出席者 出席委員18名(欠席委員2名)

■委員

《会長》	奥野 信宏	梅村学園・中京大学 理事・学術顧問
《副会長》	松尾 昌之	市民会議代表《第2分科会・会長》
	木内 清美	愛知江南短期大学こども健康学科長
	佐々木 直	修文大学名誉教授
	高橋 政稔	名城大学理工学部教授
	尾関 昭	市議会議員
欠席	掛布 まち子	市議会議員
	古池 勝英	市議会議員
	安達 秀正	愛知北農業協同組合組合長
	大谷 元	江南金融協会会長
	楓 健年	江南市環境審議会会長
	後藤 雅臣	江南市消防団団長
	梶村 徹師	古知野区区長
	松永 金次郎	江南商工会議所会頭
	陸浦 歳之	江南市社会福祉協議会会長
	加藤 幸治	市民会議代表《第1分科会・会長》
	宮川 秀男	市民会議代表《第1分科会・副会長》
	岩根 佐代子	市民会議代表《第2分科会・副会長》
	柴田 広美	市民会議代表《第3分科会・会長》
欠席	早瀬 裕子	市民会議代表《第3分科会・副会長》

■傍聴者 1名

◆議題

- (1) 第6次江南市総合計画基本計画 第1章について
- (2) 第6次江南市総合計画基本計画 第2章について
- (3) 第6次江南市総合計画基本計画 第3章について
- (4) その他

<配付資料>

資料1 第6次江南市総合計画 基本計画(案)

参考 江南市人口ビジョン(抜粋)

◆会議結果

1 開会

事務局より挨拶。

2 議題

(1) 第6次江南市総合計画基本計画 第1章について

- (会 長) 議題1の第6次江南市総合計画基本計画 第1章について、事務局より説明をお願いします。
- (事 務 局) ~資料1の1ページから8ページについて事務局より説明~
- (会 長) 出生率はどのくらいか。
- (事 務 局) 1.42です。
- (会 長) 愛知県は2.0を目指すといっているのですが、2.0くらいを目指しても良いのではないかと。どこかに出生率を書いておいた方が良いでしょう。財政力指数は0.818とあるが、全国的にみてかなり高い方である。具体的な内容については、分野別計画の方で力強いものにしてもらいたい。
- (委 員) 3ページの人口フレームについて、上段は下3桁まで表示しているのに対し、表中は100人単位となっている。人口ビジョンとの整合も含めてどちらかに統一した方が良いでしょう。また、5ページの表に平成29年度の財政計画も入っているが、この予算は議決したものなのか。
- (事 務 局) 議決してから確定となります。
- (委 員) 平成29年度の予算は確定後に、グラフに表記されるのか。また、議会で大幅に予算が変更した場合、平成39年度まで影響してくるのか。
- (事 務 局) 議決後、確定した数値に差換えます。また、平成30年度以降の計画額は再度検証します。
- (会 長) 表下に「※平成29年度は予算額、～」とあるが、この記載もあわせて修正してほしい。
- (委 員) 将来目標人口が95,100人とあるが、人口減少抑制策を盛り込んだ予測値となっていると理解して良いか。
- また、土地利用構想図について、ごみ焼却施設の用地を「暮らしと安全のゾーン」に設定しているが、このゾーンは全て公共公益施設として活用していく方向性なのか。どこまで具体化しているのか教えていただきたい。
- あと、中心拠点、地域拠点とあるが、散在した集落の交通ネットワークはどうなるのか。
- (事 務 局) 将来目標人口の95,100人は、総合計画の施策効果を見込んだ推計値になります。「暮らしと安全のゾーン」は、全体の7.2haについて市で地権者の同意取得を進めており、うち3.2haはごみ焼却施設の建設が決定しています。残りの4.0haの土地利用は検討中ですが、何らかのかたちで今後活用していく予定です。
- (委 員) 「暮らしと安全のゾーン」の“安全”とは何を意味するのか。
- (事 務 局) 大きな防災拠点となることを想定しており、何か防災上の利用が出来ないかと考えているところです。ネーミングを模索するなかで“安全”と表現しました。
- (委 員) 4ページの財政のところ「政策的に使える財源が少なく」とあるが、記載しなくても良いのではないかと。
- (会 長) 投資的経費が少し厳しいという意味だと思いがいかか。
- (事 務 局) ここの表現については見直します。
- (会 長) 言葉の使い方を含めて検討してほしい。
- (委 員) 参考資料の人口ビジョンを見ると、布袋地区の将来人口の減少幅が他地区よりも大きい。駅周辺整備など人口を増やす戦略を行っているのにどうしてか疑問に感じている。また、市街化区域の拡大を求める声をよく耳にするが、土地利用構想図に反映されていないがどうしてか。
- (事 務 局) 布袋地区の将来人口については再度確認させていただきたい。なお、布袋駅東地区は市街化調整区域であるが、市街化区域に変更することなく宅地化できるようにしているところなので、人口増への良い影響になれば良いと考えています。

市街化区域の拡大は、県の方針からいくと難しいですが、市街化調整区域のまま宅地化することができるような方策の検討を進めており、土地利用構想図の“名古屋江南線”と表記のあるあたりは住宅ゾーンを広げています。

(会 長) 土地利用形態の自由化に関する要望は強い。IC 付近の土地利用は柔軟に対応する必要がある。

(委 員) 4 ページの財政力指数について、グラフが右肩上がりなので、文章の表現とそぐわないのではないか。

(事 務 局) 前回は財政力指数を 1 に近づけるようにシミュレーションしていましたが、今回は現実的な数値として 0.84 を目指したシミュレーションを行っています。

(会 長) グラフを見ると変動が大きく感じるが、数値を見ると小さな動きであり安定している。

(委 員) 7 ページの土地利用構想図で、木曽川の中洲まで市域に含まれているが、色が塗られていないのには何か理由があるのか。

(事 務 局) 確認して修正します。

(委 員) 人口予測の手法について、経済予測モデルでシミュレーションすると人口とリンクしてくるのではないか。また、土地利用については人口とどうリンクしているのか。昼夜間人口比率なども見てみたらどうか。

(会 長) 数を押さえておくことは江南市にとって大切なことである。

(委 員) 藤ヶ丘地区は急激に人口が減ることとなるが、7 ページの土地利用構想図では住宅ゾーンで地域拠点となっている。このあたりのビジョンはどのように持っているのか。

(事 務 局) 江南団地については、団地自治会と UR が一緒になって今後のプランを練っているそうなので、期待をしているところです。

(委 員) 藤ヶ丘地区のビジョンはどう描いているのか読めない。UR に頼るのも政策だと思うが、市はコンパクトシティをめざすと言っている。どう考えているのか。

(事 務 局) 市の方針や具体的なものをもちあわせているわけではありませんが、団地の自治会等とも相談しながら、将来展望を見据えて検討していきます。

江南市の市街化区域の面積は、県下でも少ない方ですが、県の方針もあって増やすことが難しい状況であるため、都市計画法 34 条を活用し市街化調整区域での宅地化を認める方策を考えています。

(会 長) UR は団地のコミュニティづくり等を熱心に行っているのだから、何か考えがあるのか情報収集されたらどうか。

(委 員) UR に市の意向を伝えても良い。また、宅地を増やすなら優良宅地を増やすべきで、面積が小割の宅地を増やすべきではない。コンパクトシティとの兼ね合いもあわせて検討してほしい。

(2) 第 6 次江南市総合計画基本計画 第 2 章について

(会 長) 議題 2 の第 6 次江南市総合計画基本計画 第 2 章について、事務局より説明をお願いします。

(事 務 局) ～資料 1 の 9 ページから 10 ページについて事務局より説明～

(委 員) 9 ページに、「基本目標 1 地域の魅力を活かしたまちづくり」とあるが、基本構想では“機能的な”まちづくりと表現している。どちらかに統一した方が良い。

(事 務 局) 文言の整合について見直します。

(会 長) KPI は次回審議会に出てくるのか。

(事 務 局) その予定です。

(会 長) 基本構想と整合を図りながら修正してほしい。

(3) 第 6 次江南市総合計画基本計画 第 3 章について

(会 長) 議題 3 の第 6 次江南市総合計画基本計画 第 3 章について、事務局より説明をお願いします。

(事 務 局) ～資料 1 の 11 ページから 16 ページについて事務局より説明～

(会 長) 公共交通の再編について、現在、自動運転技術の発展がめざましく、10 年後には自動運転バスが走るようにしたいと国は言っている。また、LRT や BRT など議論されている。

中山間地の交通が課題であるが、GPS の衛星をあと 2 つ上げれば 10mm 以内の精度で自動車が制御できるようになるとのことで、ここ 10 年の間に劇的に変わっていくことが予測される。

子育てについては、病児保育サービスの充実が大切である。子どもを増やすには、保育所を駅の上か前に作るのが良いと考える。また、医療機関の近くには 24 時間体制の保育所などがあると良い。子どもが発熱しても預かってくれるサービスを展開しているところもあり、市長の想いはそこにあると認識している。

- (委員) 13 ページ以降に「挿絵・写真」とあるが、何を入れる予定なのか。
- (事務局) タイトルがイメージできるような、絵や写真を入れたいと考えています。
- (委員) いつ完成するのか。あえて写真があるのかとを感じる。もっと字を大きくするなどの方が良いのではないか。
- (委員) 14 ページについて、市では子育て世代の悩みを解消するため、賢い親となるよう育児に関する情報や技術の提供などの支援策を行っているが、それがやれない親を結果的に追い詰めてしまう場合もある。子育ての楽しさを感じられるように事業を展開してほしい。
- (委員) 子育てに“楽しさ”は必要である。母親世代の話を聞くと、いろいろなことをつぶやける場所が楽しいと言っていた。“それで大丈夫”と言われたときに肩の荷が下りる。分科会でも意見があったが、子どもが主役、子どもが幸せになる子育て支援をぜひ展開していただきたい。また、文言を追加してほしい。
- (委員) 14 ページに下から 5 行目に給食センターや図書館の記載があり、戦略プロジェクトに「安心安全で質の高い学校給食の実施」とあるが、給食センターありきで進めてよいのか。
- (会長) 市長と相談してもらいたい。給食センターについては、単独校だけでなく、幼小中が共同して利用するなど、自治体の事情でそれぞれである。
- (委員) 名古屋は生徒の希望で食事を選べる方式である。最終的に給食センターに選択するということには問題ないが、はじめからありきで考えるかどうかは気になる。
- (会長) 給食センターでもバイキング形式を採用しているところもあり、民間事業者の知恵の出どころである。
- (委員) 15 ページに「想定外」の災害に対応できるように～とあり、ソフトとハードの話が明記されているが、今後、高齢者や子どもの避難を考えたときに道路等の構築物の対策も重要だと考えている。
- (委員) 7 ページの土地利用構想図に、環状軸が示されているがどのような考え方なのか。
- (事務局) 市街地の通過交通を排除し、交通渋滞を緩和することを考えています。
- (委員) そうであれば、今の環状軸の内側にもう一つ環状線があっても良い。
- (会長) 10 ページのまちづくり分野の柱 4 に「公平かつ適正な収納」とあるが、何を意味しているのか教えていただきたい。
- (会長) わかりにくい表現となっているがどのように考えているのか。
- (事務局) 道路占用に関するものになります。表現はわかりやすいものに修正します。また、前段の部分につきましては、勉強させていただければと思います。
- (委員) 市長の戦略政策の 4 つがローマ数字で示されているが、13 ページ以降の分野もローマ数字のためわかりにくい。また、8 ページでは市長の戦略政策について「分野を横断して」とあるが、13 ページ以外は他との連携があまりみえてこない。10 ページの図などはきれいにまとまっていて良いが、市長の考えをはじめの部分で明確に示し、優先順位をはっきりさせた方が良いのではないか。
- (委員) 第 6 次江南市総合計画というからには、過去に 5 回すでに検討しているので、ぜひとも計画で終わらず、優先順位をつけてどのように実現していくかを検討いただきたい。
- (委員) 「ちいきづくり」の想定外の災害について、想定できない災害に対して、防火水槽の耐震化で本当に良いのか。災害時にも対応できる人材の育成が必要ではないか。
- (会長) 未曾有の大規模災害でも対応できる国土づくりが進められているが、市独自でどこまで対応できるか。
- (事務局) 想定外に対応するのは非常に難しいと考えていますが、庁内では防災に関する部署を立

- ち上げ、BCP 作成など迅速性を高める意味で、組織や人材育成について取り組んでいるところ。また、想定外の災害に対応できるようにプランも練っているところ。国と市の役割分担も重要である。東京と関西をつなぐ鉄道、道路はいずれも4層構造にするなどして備えている。そのうえで、名古屋の拠点性は高く、構造も強化されてきている。
- (委員長) 13 ページの戦略プロジェクトに布袋駅に関する政策があげられているが、江南駅周辺に関する項目も加えてほしい。江南駅をもっと立派にする方が先決ではないか。江南に来た人が、江南の駅前を見てどう思うか。江南ブランドをどうするか。江南市らしい何かを作らないといけない。
- (会長) 沢山のご意見頂きありがとうございます。それでは、事務局から「(4) その他」について説明をお願いします。

(4) その他

- (事務局) 次回以降の審議会日程についてお知らせいたします。
- 第4回 3月21日(火) 午後2時(第2委員会室)
 - 第5回 4月20日(木) 午後2時(第2委員会室)
 - 第6回 5月23日(火) 午後2時(第2委員会室)
- 本日は長時間に渡りご審議いただき、ありがとうございました。

以上